JAPAN REGIONAL INBOUND AI OPPORTUNITY REPORT 2026

#05 INBOUND LUXURY & RESALE II

中古ブランドバッグ市場のAI競争環境分析

訪日旅行者の英語AI検索60観測から読み解く、企業別露出構造と競合ギャップ

今回の判定	内容
新規調査	東京×中古ブランドバッグ。英語20問 × 3反復 = 60回答、すべて取得
前回との関係	#03「INBOUND LUXURY & RESALE」（2026年10月30日観測）から派生した追加調査
調査上の注意	回答内の企業・店舗名の出現は、推薦・購買・売上を意味しない

2026年11月8日観測 | 地域×AI検索の56project | Japan Place Intelligence

01 | EXECUTIVE SUMMARY

東京の中古ブランドバッグについて、20の英語購買質問を各3回観測した。

実測で確認できたこと

01 **完全な反復観測**：20問×3回＝60回答を保存。欠損0件、解析エラー0件。API試行62回のうち2回はタイムアウトしたが、再試行で回収。

02 **名称出現の偏り**：回答内の企業・店舗名の出現は、KOMEHYO 60/60、BRAND OFF 58/60、Daikokuya 55/60、RAGTAG 55/60。5位の2nd STREETは29/60で、上位4名称との間に差がある。

03 **質問別の安定性**：同一質問3回中2回以上の出現を「安定出現」とすると、KOMEHYO 20/20問、BRAND OFF・RAGTAG 19/20問、Daikokuya 18/20問。5位以下はいずれも10/20問以下。推薦品質の保証ではない。

04 **情報源の広がり**：回答に付いた引用URLは全体で271種類。延べ数は数え方により722件または573件（下記注）。

05 **事業上の機会**：質問ごとに0/3・1/3・2/3以上を区別すると、「指定した競合が安定出現し、自社が0/3または1/3」の質問を抽出できる。件数は対象企業と競合を指定してから算出する。

読み取れること | 上位4名称は、購買条件を変えてもほぼすべての質問で出現した。5位以下は、質問によって出現したりしなかったりする。差が見えるのは「どの購買意図で名前が出るか」である。

名称出現は比較・否定・注意書きでの登場も含み、購入先としての推薦判定ではない。企業辞書（mentioned_brands）と店舗辞書（mentioned_stores）の抽出結果を回答単位で統合しており、両辞書の抽出精度・網羅性は同等と検証されていない。引用URL延べ数：回答本文中のリンク出現で722件、回答ごとに重複を除くと573件。
出典：56project／OpenAI API（gpt-5-mini、Web検索あり）観測、2026年11月8日（17:39〜19:53 JST）。ChatGPTアプリや他AIの結果を代表しない。

01B | KEY NUMBERS

今回の観測の規模と、経営判断に使える範囲。

60/60	20	4	271
保存回答（20問×3回）	回答に出現した企業・店舗名	出現50/60回答以上の名称	引用URL（ユニーク）

観測から確認できたこと	販売企業が考えること
上位4名称（KOMEHYO・BRAND OFF・Daikokuya・RAGTAG）は55〜60/60回答に出現	上位企業でも、どの質問で比較対象にされているかを確認する
5位以下の15名称は出現29/60以下、安定出現は10/20問以下	自社名が出る購買意図と、出ない購買意図を分けて把握する
出現回答数が同じでも、3/3出現の質問数は名称により異なる	「何回出たか」と「安定して出るか」を別の指標として追う
引用URLには企業公式とみられるサイトと、観光・ガイド系サイトが混在	公式情報と第三者情報の記述が一致しているかを点検する

「出現50/60回答以上」は修正版集計（entity_metrics_REVISED）から算出。API上のWeb検索呼び出しは60回答で計272回。
出典：56project／OpenAI API（gpt-5-mini、Web検索あり）観測、2026年11月8日（17:39〜19:53 JST）。